

| | |
|--|--|
| しかはま自然観察会 <h1 style="font-size: 2em;">のらえもん</h1> 『人も 自然も みんなともだち !』No.7 | 代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7 ☎090-7275-9890 2017, 9, 10 |
|--|--|

第7回活動「稲刈りとうどんづくり体験」

初めてのうどんづくり体験は、どうだったのでしょうか？
 天ぷらうどんにして食べたお味は？
 小さな苗は、4カ月後の今日、どんな成長ぶりだったのでしょうか？
 稲刈りの鎌の音は、どんなふう聞こえましたか？

- 1, 日 時： 2017年9月10日（日） 全日
- 2, 天 気： 晴れのち曇り
 気温・・・28℃
- 3, 交 通： ○現地集合
 ○ヨツバ観光バス
4. 場 所： ○午前・・・あすなろの里でうどんづくり体験
 ○午後・・・宅間農園で稲刈り体験
- 5, 参加者： 総数 46人
 内訳 14家族と保育園の先生方8

| | |
|------|----|
| 大人 | 24 |
| 高校 | 2 |
| 中学生 | 3 |
| 小学生 | 11 |
| 幼児 | 4 |
| スタッフ | 2 |

6, 活動の様子

○ うどんづくり体験

のらえもんでは、初めての活動です。2年前に計画したのですが、常総市の
 大洪水で中止になったいきさつがあります。

作業場に着くと、もう粉は用意されていました。そして、2人の講師がてい
 ねいに、易しく教えてくれました。

講師：中島 三代子様

講師：糸賀 愛 美様

* 材料

粉は、強力粉と薄力粉を混ぜたもの

水と塩、塩は生地を硬くすることとうまみを引き出す

* 手順

- ①水を半分入れ、パン粉のような感じにする
- ②残りの水をいれ、パン粉のような感じにする
- ③粉を全部集め、手の平で押す
- ④なめらかになるまでこねる
- ⑤ビニール袋の真ん中に生地を置き、ゆるくたたみ、足で揉む
- ⑥のし板にのせ、麺棒でのばす
- ⑦上げ下げを当て、包丁で切る
- ⑧釜でゆでる
- ⑨柔らかくなったら、出来上がり！

* かまど（竈）の火のつけ方を、中島様が見せてくれました。

- ①かまどに、杉のきを、井桁にくんでおく
杉は、火が点きやすいとのことでした。
- ②長い筒状にした新聞紙を、井桁の間に入れる
すると、あっという間に、杉の木に火が点いてしまいました。
やがて、釜の水がグラグラ煮たってきました。
そこに、細く切ったうどんを入れるのです。

* 昼食

ゆであがったうどんをざるに取り、食堂に持って行きました。
天ぷら、ネギ、わかめ、つゆ、が用意されていました。
それぞれ好きな物を入れて、準備完了。
本橋望さんの「いただきます」の合図で、自分たちが作ったうどんを味わいました。
おあじは？
「ごちそうさま」の合図は、清水大智くんがしました。

* 後かたづけ

真っ黒になった釜の底をクレンザーでこすり落とし、ざる・さいばし・ひしゃくなどをきれいに洗いました。ざるは、植木の上に置き、太陽をいっぱい当てました。

○ 稲刈り体験

あすなろの里を13:00に出発、14:00には田んぼに着きました。

* 田んぼが、ひろい？

田植えしたときより、広がっています。宅間さんは、開口一番、「みなさん、ガンバルので、広くしておきました」というのです。大丈夫かな？と不安がありました。が、なんと、わずか1時間で刈り上げてしまいました。落ち穂は少なく、稲束はコンパインの通り道に並べられました。みんな、手際よくなりましたね！！1年に1回しかやらないのに、体が覚えているのですね！
来年は、面積が、また広くなりそうですね。
稲刈りの最後は、畦際でした。すると、バッタ・イナゴ・コオロギなどのたくさんの昆虫たちが、ピョンピョンはねながら出てくる出てくる！

カエルやカナヘビも、いっしょになって出てきました。

田んぼは、お米だけでなく、虫さんたちも育てているようでした。

* 田んぼの温度

気温 28℃ 直射日光 36, 5℃ 田んぼの土の温度 26, 5℃

* 宅間さんにお礼を言い、バスに向かいました。

バスの所には、宅間さんのお母さんが新米を持って来てくれていました。

この新米（コシヒカリ）は、田植え・稲刈りのお礼の気持ちとして、大人一人1kgを購入しているものです。

もう一つのお礼の気持ちを、11月11日の「新米販売」で表しています。

毎年、たくさんの方々のご協力を得、宅間様もたいへん感謝していることをお伝えします。

7, 親と子の、いきいき感想

○ いねかりで れきしのはなし もりあがる

いねかりで、とてもちくちくして、かゆかった。けど、それをわすれるほど歴史のはなしが盛り上がった。そして、うどんは大成功でした。

北鹿浜小6年

* わがむすめ いねかりよりも れきしかな

思ったより、うどんができてよかった。6人分の量にしては多く出来てびっくり！いねかりは、あつくて大変だった。

○ いねかりは むしがいっぱい さいあくだ

ぼくは、うどん作りがたのしかったです。なぜならば、のばすのがきもちよかったからです。楽しかったです。

栗原北小3年

○ たのしいな いねかりたのしい のらえもん

のらえもんにきて、とてもたのしかったです。ちいさい子と一緒に話したりしてよかったなと思いました。うどんは、とてもおいしかったです。

いねかりのほうでも、たのしくできました。

のらえもんにさそっていただき、ありがとうございます。みなさんとたのしくできました。ありがとうございました。

高校2年

○ たんぼには 虫がこわくて はいれない

すべての虫がきらい。虫を投げられたのが、こわかった。たのしかった。

鹿浜五色桜小6年

○ たんぼには 虫がすぎて うんざりだ

虫が、うざい！

高校2年

* 今年が最後の稲刈りになるのかな、と思いながら、少しだけ参加しました。天気にも恵まれ、良かったです。ありがとうございました。

- いねかりで 虫がうざくて 死にました
久しぶりののらえもんで、うどん作りは、思ったより一つ一つがむずかしかったです。
いねかりは(?)は、暑くて虫がいて、死にそうでした。
たのしかったです!!

第七中2年

- いねかりで むしのたいぐん きもかった
今日、はじめて参加して、とてもたのしかったです。
うどん作りでは、かま(釜)を使ってゆでることに、おどろきました。

第七中2年

- きょうはね うどんづくりを したんだよ
いねかりをして、たのしかった。
うどんもつくって、たべれて、おいしかったです。

北鹿浜小4年

- * 手でこねて 足で踏み踏み 美味しいな
自分たちで作ったうどんは、大変だったけど、かき揚げうどんにして食べたらとても美味しかったです。
稲刈りは、自分たちで田植えをしたので、大きくなった稲を見てとてもうれしかったです。
新米、ありがとうございます・

- うどんはね 自分で作ると おいしいよ
今日は、初めてうどん作りをしました!
食べるまではすごく長くて「たいへんだなあ」と思いました。
いねかりは、もう何回もやっているの、スラスラできました。
けど、チクチクかゆかったです。

北鹿浜小6年

- * 稲刈られ 慌てるカエルや バッタたち
何度目の稲刈りだったでしょうか?初めの時は、カマを持つ手にも力が入らなく、ケガをしないかと気が気でなかった事を思い出しながら、我が子の姿を見ていました。6年生の今年はとてもたくましく、成長を感じました。
うどん作りは、思った以上に力が要りました。自分でこねて・のぼして・切ったうどんは、格別でした。

- 最初からうどんを作ったことがなかったので、むずかしかったです。
うすくのぼすのが、大変でした。

鹿浜菜の花中1年

- うどんづくりで、自分でつくったから、おいしかった!

鹿浜五色桜小6年

- おうどんをつくりました。こねこねして、ふんで、きじがやわらかくて、たべました。おいしかったです。
いねかりをして、かえるがいっぱいいて、バツタもいっぱいいて、いねをたくさんきりました。たのしかったです。

鹿浜五色桜小4年

- * みんなでこねて作ったうどんは、もちもちで、おいしかったです。
稲刈りも、最後までしっかりできました。

- いねが たくさんとれて たのしかったです。
むしも いっぱいとれて たのしかったです。
うどんづくりは ちょっとたいへんだったけど たのしく おいしかったです。

にしあらいようちえん ささくみ

- * 稲刈りで 虫を捕る捕る 我が息子
植えた稲の苗があつという間に育って、稲穂になってしまったように思えましたが、そこに来るまでには大変な苦労があったと思います。ほんの少しお手伝いしただけで、とても疲れしました。機械の力もあるとはいえ、本当に大変な事と思います。
貴重な体験ができました。ありがとうございました。

- かえるをつかまえたのが たのしかった。
ばったをつかまえたのが たのしかった。
へびをつかまえたのが びっくりした。

北区東十条東保育園

- * 虫とりでは、大きなお兄ちゃんお姉ちゃん、名前もよく知らないお友だちと、夢中で、競って、覗いて・・・、一瞬一瞬がすばらしい時間でした。
毎日こんな風にあそべたらなああと、思わずにいられませんでした。
ありがとうございました。

- いねかりは あついのがつづき できなかった
今日は、うどん作りが楽しかったです。
理由は、うどん作りはあんまりやったことがなかったからです。
あと、いねかりは、あつかったので、あんまりいねかりはできませんでした。

鹿浜五色桜小5年

- きるのが たのしかった。
おこめを きるのが たのしかった。

北区東十条東保育園

- うどんづくりで、あぶらあげがたべたかった。
いねかりは、そんなにやってこなかった。
あと、あつかった。

鹿浜西小5年

*秋空の下 鎌の音とともに舞う いなごの大群
久しぶりにのらえもんに参加して、うどん作りは楽しかった。
次回はピザで、ネー！
稲刈りは、経験者が多くて、早い！

保育園の先生方の感想

- うどんこね むかしの人の 苦勞知る
田の中に、様々な生き物がいることに、びっくり！！しました。
稲をすることで、生き物と共存していることを感じました。
保育園の子どもたちをつれて来られたら、一日中、虫取りをしているのではないのでしょうか。
自分たちで作ったうどんは格別でした。
本木東保育園
- 手づくりの よさをひきつぐ わが子にも
初めて、手打ちうどんの体験をしました。
思っていた以上に手間がかかっていることに、驚きました。でもその分、とてもおいしくて、手作りの良さを改めて実感しました。
稲刈りは、いい汗をかかせていただきました。
今年も農家の方々へ感謝して、新米をいただきます。
土鍋で炊いて食べるのが楽しみです。
鹿浜こども園
- 金の穂を 刈り取る口は 一文字
うどん作りも稲刈りも、初めての体験でした。
自分たちで作ったうどんの味は、最高でしたし、5月に植えたものが大きく成長した姿に感動しました。
無心になって稲を刈っている自分にも、新しい発見がありました。
毎回思っていますが、我が子（すでに成人していますが・・・）にも体験させてあげたかった！と思うものばかりです。
鹿浜こども園
- 新米の 美味のむこうに 母よなべ
初めてのうどん作り。うまくできるのか不安でしたが、グループのみんなと力をあわせてつくることが一番楽しかった。
できあがりも、どのグループより、最高に思えました。
稲刈りは、うどん作りで体力をつかい、ぐったり感があったものの、一時間の行程で終わったのには、びっくりしました。
すぐにビールを飲めたら、さぞ、美味しかったかと・・・。
鹿浜こども園

- 稲刈りの 動きを体 覚えてる
 もちもちの うどんを食べて 稲をかる
 粉がうどんになる過程が、思ったより時間がかかったと、驚きました。夢中で作っていたのでしょうね。寝かせた生地のもちもちすべすべ感がたまらなく愛おしかったです。味は、もちろん、とってもおいしかったです。
 稲刈りは、体が覚えていて、これまた驚きました。
 鹿浜こども園
- ちからこめ あいもこめる うどんかな
 こんにちは こうべをたれる いなほかな
 人生初のうどん作り体験。部分的にはTV等でみたことはありましたが、こんなにも力が入り、かつせんさいな作業なのだと実感しました。形は様々ですが、一からつくるものは心がこもっていて、とてもおいしかったです。
 貴重な体験ができました。
 稲は元気になっていて、うれしかったです。
 鹿浜こども園
- こうべたれ 自然の恵み 感謝す
 ゆであがり こしあるうどん できあがり
 “くり返し” 私の中の キーワード
 初めてのうどん作り体験。楽しくて、満足いく出来上がりで、さらには美味しくいただけ、充実した時間になりました。ここでの体験は、いつも、自分でもまたやってみようかな、とか、子どもたちにはどんな風にしたらこのおもしろさを味わわせてあげられるかなと、いつも考えることができます。
 稲刈りも、重労働だけど、達成感！
 伊興保育園
- こうべたれ まだかまだかと 今日を待つ
 1本に120粒。食べるとあっという間。収穫してお米になるまで、口にはいるまでと思うと、本当に1粒も残さず食べなければと実感します。
 うどん、はじめて作りました。家でも試してみようかなと思いました。
 伊興保育園
- のらえもののふり返り
 * 稲刈りは 46人の 結いの果て
 * 握る手に 稲穂の重み 伝わりし
 * 稲穂揺れ 田んぼがみんな 笑ってる
 * 満月の 明かりの中で 稲を刈る
 家族総出で、満月の明かりの中で稲を刈ったことを思い出しました。一日に一反か二反がやっとなのでした。
 * 稲刈れば はるか昔の 農繁期
 学校は1週間休みになり、子どもも重要な労働力でした。

田んぼ 周辺の様子

